

事業所名		児童発達支援 さくら				支援プログラム		作成日		令和7	年	1	月	29	日
法人（事業所）理念		・子どもの個性を大切にします ・リラックスできる時間を提供します ・自立に向け必要な援助を行います													
支援方針		・一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を提供します。 ・遊びを通じて学びや発達をサポートします。 ・季節の変化を感じる活動を取り入れ、子どもたちが楽しめる環境を整えます。													
営業時間			9 時		0 分から		18 時		0 分まで	送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・子どもに応じた排尿・排泄のトレーニングを行います。 ・子どもに応じた食事に必要なスキル（箸やスプーンの使い方）の獲得が出来るようにします。 ・片付けの方法を知り身の周りの整理整頓へ関心をもってもらいます。 ・四季の制作物の作成（工作、折り紙等）を行う事により、四季への関心を持ってもらいます。													
	運動・感覚	・身体の体幹バランスを整える運動（トランポリン、バランスボール）をします。 ・室内、屋外でできる遊びを行うことで体や指先の使い方を学びます。													
	認知・行動	・目標や約束を決めて時間やルールを意識してもらいます。達成したら、褒めることで自己肯定感を育みます。 ・色合わせや絵合わせをすることで、視覚的識別能力（色や形を見分ける能力）や視覚的記憶力の能力が向上します。 ・スリーヒントゲームを行うことで、よく聞いて動く力を養います。 ・折り紙、LaQ、レゴブロックをすることで、手と目の協調性や空間認知力を養います。難しい物を作りあげる事で、問題解決能力や計画性のスキル強化をしていきます。 また、想像力や創造性を引き出し、新しい物を作り出す楽しさを感じてもらいます。													
	言語 コミュニケーション	・あいうえおカード、絵カードによる意思表示の練習をすることで、新しい単語や表現を学んで語彙を豊かにします。自己発信の練習をし、達成した時に褒めることで、自分から意見を伝えることの達成感を感じてもらい、自分の気持ちを他者に伝える能力を養います。 ・絵本の読み聞かせを通じて内容を理解することで読解力の向上を図ります。 ・かるたや絵本の読み聞かせを通じて他の子や職員と情報の共有をすることで、コミュニケーションスキルの向上を図ります。													
	人間関係 社会性	・ままごとやトランプ、UNOなどの遊びを通じて、他者とのコミュニケーション能力が向上します。 ・公園での遊びや周辺の散策を通じて社会的なルールやマナーを学びます。													
家族支援		・保護者同士の日頃の悩みや困りごとを話せる機会があります。 ・気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行います。 ・連絡帳等を通じて、保護者のご意見等を聞き、情報をお伝えします。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。							移行支援		・他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。				
地域支援・地域連携		・地域の公共施設（公園等）を利用し、地域資源を活用しています。 ・こども園、保育所、幼稚園、福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。							職員の質の向上		・外部研修や法人の内部研修等を行い、コミュニケーションの取り方や障害特性、支援方法について学びます。				
主な行事等		豆まき、花見、紅葉狩り、プール、夏祭り、お楽しみ会、家族会													